

早稲田大学 人間科学部 数学 講評

〔総合分析〕

出題形式	マーク式・記述式併用
試験時間	90分
特徴・その他	問1、問2はマーク式であるが、計算量が多いのであなどれない。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
問1	小問集合	(1) 因数分解、(2) 数列の和、(3) 対数方程式、(4) 定積分の計算、(5) 2項分布の期待値、(6) 三角関数の値	標準
問2	図形と式	解法は典型的であるが、(3)は解き方によっては計算量が多くなってしまうので、注意が必要。	標準
問3	複素数平面と図形	Z_k が $Z^n = 1$ の解であることに気づくかどうかポイント。	標準
問4	定積分の極限	(1)(2)は(3)のための誘導。	標準

〔総合コメント〕

概ね標準的な問いで、全く手がつかないということはないはず。問1(6)と問3がやや解きにくく、合否のポイントになるところである。